

保護者の皆様へ

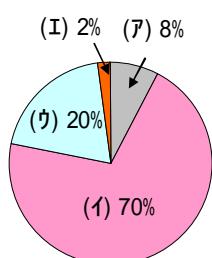
小都市立のぞみが丘小学校
P T A会長 楠 良司
校 長 井上 正明

「 “ 新 ” 家庭教育宣言」取り組みのご報告

初冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より学校運営ならびに P T A 活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。
皆様の協力により行いました「 “ 新 ” 家庭教育宣言」の最終報告をまとめましたのでお知らせ致します。

問1. 家庭教育宣言の取り組みを実践して良かったと思いますか？



- (ア) たいへん良かった
(イ) 良かった
(ウ) あまり良くなかった
(工) 良くなかった

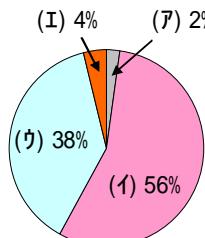
『良かった理由』

- ・日常のことを振り返るきっかけとなった
- ・子どもとのコミュニケーションの時間が増えた

『良くなかった理由』

- ・点数を評価用紙につけることに抵抗があった
- ・取り組み期間が終わると続かない
- ・めんどうだった

問3. 家庭教育宣言の取り組みを実践して、子どもに何か変化がありましたか？



- (ア) たいへんあった
(イ) あった
(ウ) あまり無かった
(工) 無かった

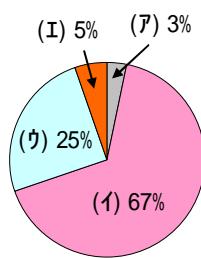
『変化の内容』

- ・毎日の生活に自主的態度が見えるようになった
- ・生活リズム確立に努力が見えるようになった など

短期間にもかかわらず

半数以上の子どもに変化が現れている

問5. 家庭教育宣言の取り組みを実践して、あなた(親)に何か変化がありましたか？



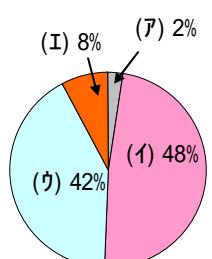
- (ア) たいへんあった
(イ) あった
(ウ) あまり無かった
(工) 無かった

・親自身のあり方を考えさせられた

・子どもとのコミュニケーションが深まった など

親自身が自分を見つめなおす
きっかけとなったようだ

問7. 家庭教育宣言の取り組みを実践して、家族に何か変化がありましたか？

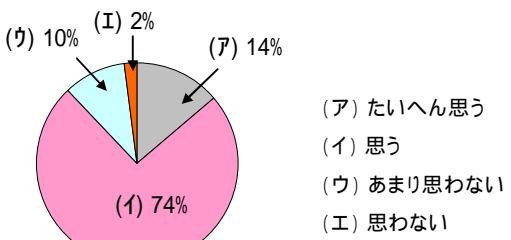


- (ア) たいへんあった
(イ) あった
(ウ) あまり無かった
(工) 無かった

一番子どもと接する時間が多い親には直ぐに
変化が現れたが、周りの人の変化が現れるには、
もう少し時間がかかるようです。

継続することで周りにも
影響を与えることが出来ると思います。

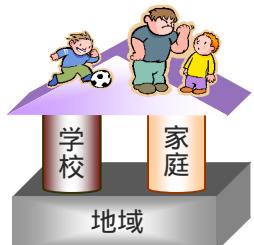
問9. 家庭教育宣言で実行したことを今後も続けようと思いますか？



今回、この取り組みをしたことで、自分自身をみつめなおし、出来ていると思っていたこと(あいさつ)が、出来ていないことに気づいた。

子育てに危機感は感じているが、1人ではどのようにしたらよいか分からなかった保護者が、今後もこのような取り組みを希望している

 のぞみが丘小学校 P T A 取り組みスローガン



「あいさつからはじめよう！ 子どもと共に親育ち！」

~取り組みを終えて~ まとめ

今年度の取り組みは、県からの指定ということもあり、数字で評価をしたりアンケートのお願いをしたりと、皆様へのご負担があったにもかかわらず、取り組みに対しては殆どの保護者の方が取り組みの継続にご賛同くださっています。

今後は、学年または、学級でテーマを設定し、この様な活動を継続して行きたいと考えております。
地域・学校・保護者が一体となり、より良い子育て環境の確立をめざすためにも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今日、とても勇気を出して、大人の人にあいさつをしたけれど、知らないふりをされて、すごく悲しかったです。.. (児童の感想文より)抜粋

これは、子ども達の感想文に多く書かれていた言葉です。

こんな思いを子どもにさせない様に、みんなで親育ちをしましょう！



~取り組みを終えて~「子ども達の感想文」の紹介

わたしは家庭教育せんげんをして思ったことがあります。一つ目は第一きの時のことです。わたしはさいしょの時、あまりやる気がありませんでした。家でお母さんといつしょにやつてみました。でも、一人とも、かくのもやるものよくわすれていきました。せんげんしたことは、「会つた人、全員にあいさつをする」でした。今では「あの時、きちんとやつておけばよかつたな」とはんせいしています。二つ目は、第二、三きの時のことです。前よりも少しは忘れずにできました。「おはようございます!」や「いただきます」をいうのが目ひょうでした。朝のあいさつ通りすがりの人にしました。でも、だんだんよくなってきたなと思いました。時には、もう終わつてしまふころでした。そのかわり、家庭教育せんげんがなくてもあいさつをするくせをつけて、色々な人にあいさつをしようと思いました。そして家庭教育せんげんが終わつて、わたしは、気がついたら会つた人に「おはようございます」や「こんにちは」ということがだんだん、ふつうのようなことになりました。わたしは母さんといつしょに弟をようちえんに送りにいつて、その帰りに、道で会つた人全員にできるだけ大きな声であいさつができるのでお母さんに、「すごいね。ママより早くできてえらいね」と言われました。その時はとても嬉しかつたです。そして、これからもどんどん、だれよりも早く、あいさつをしようと思いました。

福岡県PTA連合会指定事業…「新」家庭教育宣言



「あいさつからはじめよう！ 子どもと共に親育ち！」

子ども達の感想文（2）



私は、あいさつをして良い気持ちになつた時と、いやな気持ちになつた時があります。良い気持ちになつた時は、私が、「おはようございます」と学校に行くときに近所のおばさんに声をかけると、につりに笑つて、「おはよう」とあいさつをかえしてくれたことです。そのとき私は、すぐ良い気持ちになりました。

次に、あいさつをしていやな気持ちになつたというのは、犬の散歩をしているときに、横を通りかかつたおじさんに「こんにちは」と声をかけると、何も言わずに、むしをしてしまいました。その時は、どうしてあいさつをかえしてくれないのかなど、いやな気持ちになりました。

このように、あいさつの一言で、気持ちがかわると思いました。なので、相手の人が横やな気持ちではなく、いい気持ちになれるように相手のことを考えて、あいさつをできればいいと思います。

知らない人などに、あいさつをするのは、すごく勇気がいることかもしれないけれど、そこしづつあいさつを増やしていくらしいと思います。

それに、「おはようございます」だけではなく、「いつてきます」など、いろいろなあいさつを言えたらいいと思います。最初は、どきどきして、上手く言えないときがあると思うけど、少しずつあいさつを増やして、自然にあいさつが、相手より先に、できるようになります。

また、暗い顔で言わずに、相手の顔をしっかり見て、元気にあるあいさつができるようになります。

あいさつをすると、知り合いや、友達が増えて、今よりもっと、楽しく、いろいろなことができると思います。

あゝやつの恋歌

五年
K
H

家庭教育宣言を終えて

五年
K
A

私は、朝起きてとても眠たい時、両親から「おはよう」と言わると、大きな声で元気よく「おはよう」と言います。その時は、「よし今日も一日がんばるぞ」と言う気持ちになつて、やる気がモリモリわいてきます。あいさつは、する人もされた人もとても気持ち良くなれる「まほうことば」だと思います。私の好きな言葉の中に、「ありがとう」があります。家庭教育宣言の中で、「ありがとう」が母は、「たくさんみつけよう」という目標を立てました。「ありがとう」とは、とてもやさしい言葉だけれど、目を見て言うのは、これくさく朝一番に新聞を取ってきた時も、日曜日、私がお料理をした時も、おふろをそうじした時も、お庭そじをした時も、「お手伝いありがとうございます」ととても助かったよ」と言つてくれました。鳥や犬や動物は、言葉を話すことはできません。あいさつや相手への自分の気持ちを伝えて話すことは、神様が人間だけに与えてくださつたプレゼントだと思います。

家庭教育宣言で、ついあいさつをわざりしまつたり、大きな声で言えなかつたりして、評価が低くなつた時もありましたが、父や母と一緒に振り帰つてあいさつの様子を話す時は、とても楽しかったです。家の中も明るくなりました。

家庭教育宣言を終えて、あいさつが大きな声で言えるようになりました。

